

# 平成28年度事業報告

## 1 クラブ員数について

平成28年度	333人	(参考) 平成27年度	313人
(内訳) デリバリー教室	147人	(内訳) デリバリー教室	132人
ロボット教室	90人	ロボット教室	85人
航空宇宙教室	96人	航空宇宙教室	96人

## 2 ものづくり教室事業

### (1) デリバリー事業

日 時	平成28年4月～平成29年1月の土・日曜日10時～12時30分 (詳細は下表参照)
内 容	クラブ員として参加者を募集し、ものづくりを中心に2つのテーマで科学工作教室を名古屋市内6か所で実施した。
対 象	小学4年～中学生
参加費	10,000円
参加者数	147名 (応募人数263名) (前年度：参加者132名、応募人数305名)

### 【内容一覧】

教室名	会 場	実施日		会員数
		テーマ① 「磁石を振っておこした電気でLEDライトが点灯する装置をつくらう」	テーマ② 「暗くなるとLEDイルミネーションが点滅し、回転する装置をつくらう」	
千種教室	愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス	4/2, 9, 16, 23	10/1, 8, 15, 22	30
東教室	山吹小学校(テーマ①) 矢田小学校(テーマ②)	4/3, 10, 17, 24	10/2, 9, 16, 23	16
瑞穂教室	ブラザー工業株 ブラザーコミュニケーションスペース	5/7, 14, 21, 6/4	11/5, 12, 19, 26	30
天白教室	天白生涯学習センター	5/8, 15, 22, 29	11/6, 13, 20, 27	23
西教室	トヨタ産業技術記念館	6/18, 25, 7/2, 7/9	1/7, 14, 21, 28	25
中川教室	中川生涯学習センター	6/5, 12, 19, 26	1/8, 15, 22, 29	23

### ※参加者アンケートにおける主な感想

- 参加者 ・やったことない工作で楽しかった。 ・はんだづけを初めてやって楽しかった。
- ・とても楽しくて、工夫して出来上がった作品はとても気持ちがいい！ (小5)
  - ・たくさんの先生がいるので、質問などもしやすかった。 (中1)
  - ・みんなで作った作品を鑑賞しあう、発表会のシステムがとくに素晴らしいと思った。 (中2)
- 保護者 ・今後とも、子どもたちが科学/工作に興味を持てる活動をお願いします。
- ・いつも「考える」を前提にした指導をして下さるので回を重ねるたびに成長していると実感しています。

## (2) 子ども航空宇宙教室

目 的	実験や工作を通して飛行機のしくみを知ること、楽しみながら航空宇宙に関心をもってもらい、将来の航空宇宙産業を担う人材を育成する
日 時	コース①7/25, 26, 27 コース②8/1, 2, 3 ※各回 13 時～16 時 (3 時間)、コース①②は同内容
場 所	名古屋市工業研究所 展示場 (名古屋市熱田区六番三丁目 4-41)
内 容	「飛行機に関するお話を聞き、飛行機を飛ばすための発射装置をつくろう」をテーマに、簡単な実験とともにロケットや発射基地を製作した。今年度は三菱航空機株式会社の柳 洋氏を講師に迎え、1日目の冒頭に「国産旅客機MRJを世界の空へ」をテーマに講演をしていただいた。これまでと同様に工業研究所内の設備見学や研究紹介も実施した。
対 象	小学4年生～中学生
参加費	6,000円 (材料費込み)
参加者数	96名 (募集: 定員48名×2コース=96名、応募: 171名) (前年度応募: 276名)

## 3 科学ものづくり自由創作教室

目 的	デリバリー教室への参加経験のある十分に工作力が養われた小中学生を対象に、ものづくりへの更なる興味を喚起し、創造力及び発明に関する才能を伸ばす。
日 時	開催日数8日 (7/18, 22, 29, 8/5, 19, 26, 9/3, 10)、いずれも13時30分～16時
会 場	名古屋市科学館 工作室
内 容	各種センサーやギアボックスなど基本的な材料のみ支給し、参加者が自由な発想で、ものづくりに取り組んだ。参加者は、それぞれ独創的な発想で生活に役立つもの、困っていることに対応できるものなどを発明・作品化した。
対 象	前年までのものづくり教室 (デリバリー) に参加した小中学生
参加費	3,000円
参加者数	16名 (創意くふう展へ14点出品) (前年度: 23名)

※作品の製作にあたっては昨年度に引き続き日本弁理士会東海支部教育機関支援機構に講師派遣を依頼し、意匠や商標等知的財産に関する講義をしていただいた。

(実施日: 8月5日, 講師: 弁理士 安達正貴氏)

## 4 ものづくり教室 (ロボット体験) 事業

### (1) ロボット教室

日 時	第3日曜日10時～16時
会 場	名古屋市科学館 第2実験室
内 容	自律型サッカーロボットの組み立て及びプログラミング教室を実施した。
対 象	小学生4年生～中学生
参加費	17,000円
参加者数	11回 90名 (前年度: 85名)

## (2) ロボット工房

### ①サッカーロボットの操作体験

日 時 第1・3日曜日10時～16時  
会 場 名古屋市科学館 創造のひろば  
内 容 ロボット教室でつくった自分のロボットを持ち寄り、指導を受けながらサッカー競技を実施した。ロボットの改造やプログラミングの改良を行い、ロボカップジュニア大会での活躍を目指した。  
対 象 小学4年生～中学生  
参加費 無料  
参加者数 20回 547名 (前年度：478名)

### ②発展型キロボ教室

日 時 日曜日 (不定期) 10時～17時  
会 場 名古屋市科学館 生命館6階・実験室  
内 容 中級者教室を実施した。電子回路の勉強・製作、プログラミング言語の習得、高度な改造を行い、ロボカップジュニアジャパンオープンでの活躍を目指した。  
対 象 ロボカップジュニアなごや大会出場経験者  
参加費 無料  
参加者数 20回 235名 (前年度：299名)

## (3) 競技会参加 (ロボカップジュニア) 事業

### ①ロボカップジュニアなごやオープン

期 日 10月29日(土)  
会 場 名古屋市科学館 イベントホール  
内 容 ロボットサッカー競技の地区大会を実施した。  
対 象 小学4年生～高校生  
参加者数 22チーム (45名)

(内訳) ビギナーズリーグ (経験者) 17チーム (34名) ※上位3チームが東海ブロック大会出場  
ライトウェイトリーグ 5チーム (11名) ※上位2チームが東海ブロック大会出場

### ②ロボカップジュニアなごや大会

期 日 10月30日(日)  
会 場 名古屋市科学館 イベントホール  
内 容 ロボットサッカー競技の地区大会を実施した。  
対 象 小学4年生～高校生  
参加者数 26チーム (51名)

(内訳) ビギナーズリーグ (初心者) 22チーム (43名) ※上位4チームが東海ブロック大会出場  
オープンリーグ 4チーム (8名) ※東海ブロック大会出場

③ロボカップジュニア東海ブロック大会

期 日 12月10日 (土)

会 場 愛知工業大学名電高校 淳和記念館

内 容 下記東海ブロック地区大会から選抜されたチームが対戦し、日本大会選抜者を決定した。

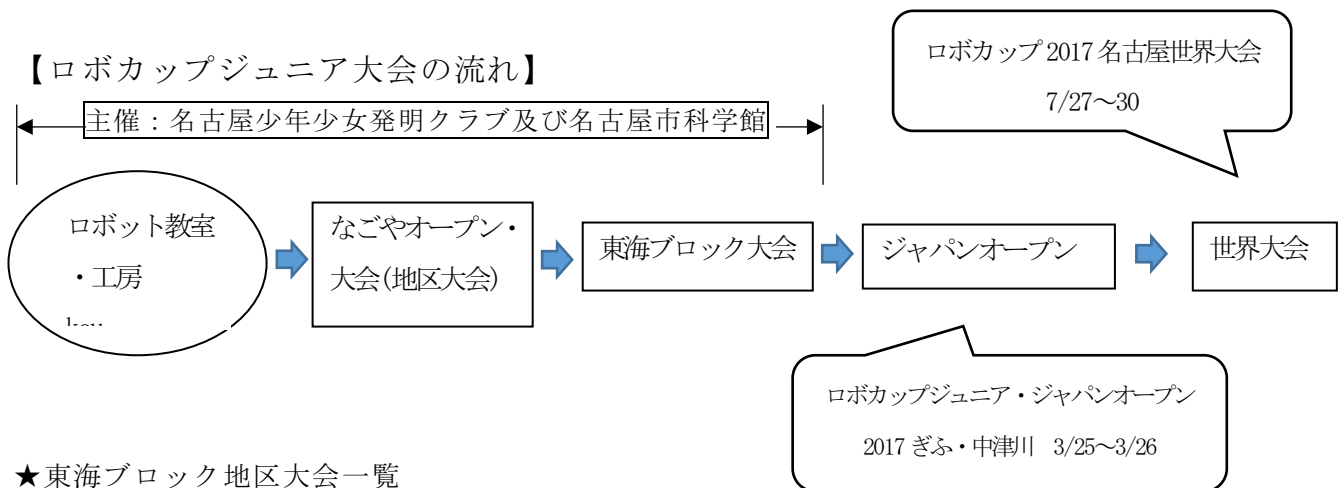
対 象 小学4年～高校生

参加者数 64チーム (143名)

※名古屋地区大会からサッカービギナーズ7チーム、同ライトウェイト2チーム、同オープン 4チームの計13チーム参加

競技種目 サッカー、レスキュー、オンステージの3種目

※同大会の競技の様子は、1月22日(日)、中京テレビ放送の名古屋市広報番組「なごやでしょ！」にて放送。



★東海ブロック地区大会一覧

区分	開催県	大会名
サッカー地区大会	愛知県	なごやオープン、なごや大会、一宮大会、高浜大会
	静岡県	浜松オープン、浜松ビギナー大会
	長野県	大町大会
レスキュー地区大会	愛知県	愛工大大会
		蒲郡大会

※オンステージは地区大会を開催しなかった。

## 5 ものづくりチャレンジ教室事業

### (1) 地球工房

日 時 土曜日13時～、日曜日・祝日11時～16時  
会 場 名古屋市科学館 発見処  
内 容 石や草木など自然の中から得られる素材を使った工作教室（砂絵、置物など）を実施した。  
対 象 希望者  
参加費 300円～1,000円  
参加者数 6,188名（昨年度：5,267名）

### (2) ものづくり工房

日 時 土曜日14時～16時  
会 場 名古屋市科学館 創造のひろば  
内 容 身のまわりの材料を使つての工作教室を実施した。  
対 象 小中学生  
参加費 無料  
参加者数 4,696名（昨年度4,728名）

### (3) ものづくり教室

日 時 第3土曜日14時～16時  
会 場 名古屋市科学館 創造のひろば  
内 容 実験・工作教室を実施した。  
対 象 小中学生  
参加費 150円～200円  
参加者数 8回 247名（昨年度：270名）

### (4) 出前ものづくり工房

期 日 別表参照  
会 場 別表参照  
内 容 地域からの依頼に応じて市内小学校へ出張して工作教室を実施した。  
参加費 無料  
参加者数 304名（昨年度：348名）

## 【ものづくり工房・教室 実施一覧】

### 出前ものづくり工房

	開催日	会場名	区	人数	内容
1	2月14日(火)	御劔小学校	瑞穂	81	「びっくりへび」「ぱたぱたチョウ」
2	2月15日(水)	松原小学校	中	43	「虹の筒」
3	2月21日(火)	穂波小学校	瑞穂	69	「ぱたぱたチョウ」
4	2月28日(火)	相生小学校	瑞穂	56	「びっくりへび」「虹の筒」「ぱたぱたチョウ」
5	3月2日(木)	平和が丘小学校	名東	55	「ぱたぱたチョウ」

### ものづくり工房

開催日	テーマ
平成28年4月	「宇宙コマ」
5月	「紙コップブーメラン」
6月	「ケロびよん」
7月	「どんぐりゆらゆら」
9月	「ホバーかめさん」
10月	「ムービー・カード」
11月	「スピンコップ」
12月	「ツーリング・ダーツ」
平成29年1月	「ピンチでパッチン」
2月	「クルクルひょうたん」
3月	「リングリングかざぐるま」

### ものづくり教室

開催日	テーマ
平成28年4月	「イルミネーションスコープ」
5月	
6月	「ミラクル万華鏡」
7月	
9月	「ういたりしずんだり上手なのだあれ？」
10月	
11月	「トコトコペンギン」
12月	
平成29年1月	「パズルdeサイエンス」
2月	
3月	

## 6 総括業務

### (1) 広報活動

- ①名古屋市公式ウェブサイトにて発明クラブを紹介した。
- ②広報パンフレットを作成(2,000部)し、市科学館に配架するとともに産業振興に関するイベント及び本市主催の産学連携の会議において配布した。
- ③協賛企業の社会貢献活動については企業名のご紹介パネルを作製して市科学館に常時掲示しているほか、「なごや・サイエンス・ひろば」、「環境デーなごや2016」、「ロボカップジュニア東海ブロック大会」、「日本弁理士会東海支部定期支部総会」等においても搬送して掲示した。
- ④「なごや・サイエンス・ひろば」への出展(8月6日(土):来場者262名)  
広報パンフレットを配布するとともに、サッカーロボットとレスキューロボットの展示・デモを行った。併せてロボカップ2017名古屋世界大会の広報活動を実施した。
- ⑤「環境デーなごや2016」への出展(9月17日(土):来場者445名)  
・「名古屋少年少女発明クラブにおける環境関連分野(ESD)への取組」をテーマに出展し、広報パ

ンフレットを配布した。併せてロボカップ2017名古屋世界大会の広報活動を実施した。

・ものづくり教室における過去の作品の一部を展示するとともにサッカーロボットの展示やデモを行った。

・ブース来場者の方に“傘袋ロケット作り”に参加いただいた。

⑥「ロボカップジュニア東海ブロック大会」において広報パンフレットを配布するとともに、ロボカップ2017名古屋世界大会の広報活動を実施した。

⑦「広報なごや2月号」において、発明クラブの取組みが表紙に掲載された。(全戸配布)

## (2) 会議の開催

運営委員会 平成28年5月30日(月) 16時～17時

名古屋商工会議所 第3会議室

幹事会 平成29年1月25日(水) 10時～11時

名古屋商工会議所 第1会議室

## 7 その他

### (1) あいち少年少女創意くふう展への出展

会 期 11月5日(土)～11月6日(日)

会 場 トヨタ産業技術記念館 大ホール

内 容 発明クラブ員の科学ものづくり自由創作教室における作品を14点出展した。

結 果 ・名古屋市長賞1点  
・名古屋市教育委員会賞1点  
・クリーン賞1点  
・振興賞1点

※本展については昨年度に引き続き、ミッドランドスクエアアトリウムイベントスペースにおいて、第74回全日本学生児童発明くふう展で恩賜賞をはじめ特別賞等に輝いた作品の展示などを行うイベントが10月22日(土)に開催された。

### (2) 協賛企業について

企業等件数 46件 6,300,000円

(内 ロボカップジュニア分 2件 300,000円)

### (3) 発明協会主催の全国会議への出席

#### ①第79回少年少女発明クラブ全国会議

11月25日(土) 発明会館ホール(東京都港区)

#### ②第80回少年少女発明クラブ全国会議

2月24日(金) 発明会館ホール(東京都港区)

### (4) 発明クラブ見学会(指導員向け)

愛知県主催の発明クラブに関する事業に協力し、1月に発明クラブの指導員を希望する方に対する見学会を開催した。

(5) ロボカップ2017名古屋世界大会への協力

ロボカップ2017名古屋世界大会が、平成29年7月27日(木)から30日(日)にわたり名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)及び武田テバオーシャンアリーナを会場に開催される。発明クラブの安井会長は同大会の開催委員会の委員に就任された。本年度実施した様々なクラブ活動において、ロボカップ名古屋世界大会に関するチラシを配布して、積極的に周知・宣伝を行った。